

授業科目	*子育て支援論				単位	1				
履修	必修	関連資格				ナンバリング	MI21211J			
開講年次	1	開講時期	通年	該当DP	DP1-1 DP3-1					
担当教員	田中 満由美、中島 俊介									
授業概要	地域における子育て世代を包括的に支援する能力を養うことを目的として、妊婦および夫が「親になる」ために適応・成長していく過程を理解し、父親・母親の親力、育児力向上にむけた親教育の多様な支援のあり方、子どもの心を育み育児不安の軽減をはかる助産師の役割について育児不安や虐待など子どもの心や親子関係の視点から解説する。また、北九州市の子育て支援の実際を概説するとともに全国における子育て支援の実際について調査する。									
学生が達成すべき行動目標	<p>”1. 親役割と「親になる」ための適応・成長過程を説明することができる。</p> <p>2. 親力・育児力を向上させるための親教育の支援について説明することができる。</p> <p>3. 様々な子育て支援策について説明できる。</p> <p>4. 子育て支援における助産師の役割について説明することができる。</p> <p>5. 北九州市子育て支援の実際を学ぶ。</p> <p>6. 日本における子育て支援の実際を学ぶ。</p> <p>”</p>									
達成度評価										
評価と評価割合／ 評価方法	試験	小テスト	レポート	発表(口頭、プレゼンテーション)	レポート外の提出物	その他	合計	備考		
総合評価割合	0	0	70	10	0	20	100			
知識・理解 (DP1-1)			60				60			
知識・理解 (DP1-2)										
知識・理解 (DP1-3)										
知識・理解 (DP1-4)										
思考・判断 (DP2-1)										
思考・判断 (DP2-2)										
関心・意欲 (DP3-1)			10	10		20	40			
関心・意欲 (DP3-2)										
態度(DP4-1)										
態度(DP4-2)										
態度 (DP4-3)										
技能・表現 (DP5-1)										
技能・表現 (DP5-2)										
技能・表現 (DP5-3)										
具体的な達成の目安										
理想的レベル					標準的なレベル					
母子関係・父子関係・家族関係や、地域社会における子育ての現状を理解し、子育て支援のあり方を説明できる。					行動目標1～6について説明ができる。行動目標4について子育て支援の実際を説明できる。					
授業計画										
進行	テーマ・講義内容			授業の運営方法		学習課題(予習・復習)		予習・復習時間(分)		

1	“テーマ:子育て支援とは (田中満由美) 子育て支援の目的 子育て支援施策の歴史 妊娠・出産をめぐる諸問題と理論 現代の子育ての現状 子ども・子育て関連3法その他の法律”	講義	“予習 母子の心理社会学子どもと社会 (第5章)、その他図書や文献から予習しておく”	60
2	“テーマ:母子関係確立への援助②(外部講師 黒岩和子) 現代社会における子育ての問題点と親になること、家族を作ること”	講義	母子の心理社会学 母子関係をめぐるの問題 (第2章)を予習しておく	60
3	“テーマ:子どもの心・胎児期・乳幼児期の発達 親子関係、家族関係、子育ての問題点、育児不安 (中島俊介)”	講義	母子の心理社会学 母子関係をめぐるの問題 (第2章)、家族と社会(第3章)を予習しておく	60
4	“テーマ: 現代社会に求められる親力、子育て力 子育てをしている親への支援について(助産師の役割) (中島俊介)”	講義	子育て支援を担う相談機関および専門職(第2章)を予習しておく	60
5	4 か月児の子育て支援 地域の支援の実際を学ぶ (外部講師 藤田稔子)	講義		60
6	“テーマ:日本における子育て支援の実際① (田中満由美) 担当するブロックの子育て支援の実際について調べる ”	グループワーク	自治体における子育て支援について予習しておく。	60
7	“テーマ:日本における子育て支援の実際② (田中満由美) 担当するブロックの子育て支援の実際について調べる ”	グループワーク	自治体における子育て支援について予習しておく。	60
8	“テーマ:日本における子育て支援の実際と助産師の役割について考える。 (田中満由美) 各担当ブロックについて発表し、発表に対して自分たちの担当したブロックとの共通点や相違点等踏まえて、質疑応答をする ”	発表、ディスカッション	パワーポイントでプレゼンできるように準備しておく。	60
9				
10				
11				
12				
13				
14				

15				
16				
17				
18				
19				
20				
21				
22				
23				
24				
25				
26				
27				
28				
29				
30				
理解に必要な予備知識や技能	子育てに関連する法律や制度、子育てにおける諸問題について関心をもって積極的な姿勢で取り組んでください。			
テキスト	"助産学講座 4 基礎助産学 4 母子の心理・社会学 我部山きよ子他 助産学講座6助産診断・技術学 2 [1]妊娠期[2]分娩期・産褥期[3]新生児・乳幼児期 我部山きよ子他"			
参考図書・教材／データベース・雑誌等の紹介	"親教育プログラムのすすめ方:ジャニス・ウッド・キャタノ著三沢直子監修,ひとなる書房 必要に応じて資料を配付する。"			
授業以外の学習方法・受講生へのメッセージ	"子育てや親子関係など日頃から関心を持って観察する習慣を持ちましょう。地域での実習を通して子育て支援の学びを深め、レポートにまとめます。 "			
達成度評価に関するコメント	レポートの詳細については、授業の中で提示します。 発表については内容・態度・質問に対数対応等で評価する。 その他については他の演者に対する質問の回数や内容で評価する。			